

# コンパニオン (2-3-2)

## 土壌修復と微生物の接種材

- 微生物を土壌に速やかに定着させる
- 多量に化学品を使用した土地に
- 適切な環境バランスを整える
- 新設と改良のために

### (活性成分)

バチルス・ズブチリスGB03

1.5 × 10<sup>10</sup> CFU (コロニー形成単位) / リットル以上

鉄 0.06% カルシウム 1% マグネシウム 0.5%

蔗糖、単糖類、濃縮発酵、植物抽出物、デキストリン  
天然有機金属イオン封鎖剤、天然湿潤剤

1缶当りの製品重量 12.1kg 荷姿 1缶 10リットル

### (商品説明)

・コンパニオンは有益な土壌細菌胞子  
バチルス・ズブチリスGB03含有の液状微生物接種材です。

・液体微生物接種材として唯一の特許品であり、この独特な製品は  
二年以上にわたり胞子を安定的に保持します。

・コンパニオンの豊富な有機溶液は食物源として作用し、  
バチルス・ズブチリスのコロニー(群落)の増殖と形成を支援します。

・バチルス・ズブチリスは、天然由来のグラム陽性(孢子形成)土壌  
細菌です。植物に施用したとき、その胞子は直ちに植物根に定着  
します。

・コンパニオンは、芝の成長を改善し、植物の必須栄養素吸収を  
促進します。

・コンパニオンは土壌改良剤とともに使用することができ、殺虫剤の  
汚染や過剰使用した土壌の改善を促進します。

・植物とコンパニオンの象徴的な関係として、このGB03は  
酵素やオーキシン様代謝物を供給し、これらの酵素や代謝物は  
発根を促し、成長と植物の活力を改善します。

・コンパニオンの有機溶液は化学性塩類を中和する天然炭素化合  
物を高濃度に含有しています。

・コンパニオンはどんな植物材料に対しても植物毒性は示しません。

・バチルス・ズブチリスGB03は細菌ですが、化学殺菌剤との混合は  
どちらの製品に対しても毒がなく混合が可能です。

・一般的な維持管理、新しい種まき、草床、移植および補修的な  
土壌向きにも使用できます。

・コンパニオンは高品質肥料、微量養分、有機材料、湿潤剤、  
界面活性剤と安全にタンク混合ができます。  
また、接触型および汎用型殺菌剤とも混合可能です。

### (使用方法)

・早春から晩秋までの植物の生育期間を通じて全ての  
種類の土壌、芝、観賞用樹木、樹木、多年性植物  
その他の園芸材料に施用できます。

・早春には地温が7°Cに達してから、また晩秋の軽い  
霜が降るまでの間施用できます。

・3~4週間毎に、m<sup>2</sup>当り1.2~2.5ccを散布してください。  
・希釈倍率は、100~200倍が効果的です。

全商品のm<sup>2</sup>当り散布量表(原液、散布水量)を  
参考までに添付してあります。  
御参照ください。

### (タンク混合)

1.まず全タンクを洗浄し、残留する農薬を除去してください。

2.水をタンクの4分の3の水準まで入れ、次いで肥料を加えます。

3.十分に混合してからコンパニオンを加えさらに攪拌を続けます。

4.コンパニオンは大部分の殺菌剤、除草剤、殺虫剤と混合が  
できます。

ただし、銅系殺菌剤または硫酸のような酸とは混合しないで  
ください。またpHが4より下、またはpHが9より上の製品とも  
混合しないでください。

5.胞子の生存度を確保するためにも、全てのタンク混合物は  
その日のうちに使用してください。

### (保管方法)

・コンパニオンを凍結させないでください。

・子供の手の届かない所に保管してください。

### (使用上の注意)

・コンパニオンを使用した後や食事前には、必ず手を洗って  
ください。万一、コンパニオンが眼に入った場合には大量の  
水で15分間洗い流してください。

・皮膚に付着した場合は、大量の水と洗剤で洗ってください。

・誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かせようとしないで、  
直ちに医者に診てもらってください。



# コンパニオンに関する質問と回答

## バチルス・ズブチリスGB03を含む

Q: バチルス・ズブチリスとは、何ですか？

A: 世界中の土壌の中に、自然に存在する棒状のバクテリアです。

Q: コンパニオンに含まれるバチルス・ズブチリス株は、どこから来たのですか？

A: コンパニオンに含まれるバチルス・ズブチリス株 (GB03) は、1930年代に初めてオーストラリアで発見されたものです。

Q: バチルス・ズブチリス GB03 は、土壌の中でどのように生きているのですか？

A: 万一、生存環境が悪くてもバチルス・ズブチリスは、死なずに孢子を作って生きています。(休眠状態)。そして、生存環境が良くなったとき、再び活動を始めます。

Q: バチルス・ズブチリスは、どんな環境で最も活動しますか？

A: 摂氏7度から45度のときに活動します。

Q: バチルス・ズブチリスは散布されたとき、どんな場所で生きているのですか？

A: 土壌の中では、植物の根毛付近にコロニー (群落) を作って生存しています。

Q: バチルス・ズブチリスは、何を食べるのですか？

A: 主な食源は、1) 植物の根から放出される糖分 2) 死んだ根細胞の炭素などです。

Q: コンパニオンは、どんな植物に対して使われるのですか？

A: すべての植物に対して、安全且つ効果的に使うことができます。

Q: コンパニオンは、酷暑の所や乾燥地帯のような悪条件の所でも使えますか？

A: そのような悪条件の所でもコンパニオンの中の微生物は、直ちに活動を始め、新しい根を保護し、栄養を与え刺激して植物を生育させます。

Q: バチルス・ズブチリスが植物の根の働くシステムを、改良するというのは本当ですか？

A: 本当です。

古い根や死んだ根を掃除して、実際に、根の掃除屋の機能を果たします。

更に、ホルモンも産生し、根の枝別れ、重さ、長さなどを増やします。

Q: バチルス・ズブチリスは、他にどんな恩恵を植物に与えますか？

A: 根元から植物を丈夫に且つ壮健にします。

その結果、健康な根のシステムを持った植物は栄養分をより良く吸収し、使うことができます。

Q: バチルス・ズブチリス GB03 は、土壌の中の栄養分に対しどんな影響を与えますか？

A: 酵素を産生して、土壌中の微量栄養素を遊離させ、植物が吸収しやすい形にします。

Q: コンパニオンを使うことによって、付近の環境にはどんな利益がありますか？

A: コンパニオンの成分は、すべて天然物なので植物に対する毒性はまったくありません。

そして、化学成分や肥料の塩を減らし、土質を改良します。

Q: コンパニオンは、どのくらいの頻度で散布すれば良いのでしょうか？

A: 通常、コンパニオンは、3~4週間毎に、m<sup>2</sup>当り1.2~2.5ccをご使用ください。

そうすれば、土壌中に有益な微生物がたくさん存在し、病原体はどこかへ行ってしまう。

Q: コンパニオンは、灌漑システムにも使えますか？

A: もちろんです。どんなに微妙な灌漑用具を使用しても固まって詰まらせるようなことはありません。

Q: コンパニオンの有効保存期間は、どのくらいですか？

A: 特別な特許をとった技術によって、2年間以上有効に保存できます。